

# 空き家問題を解決するためのアップサイクルプロジェクト

特定非営利活動法人Goodstock

## 事業が目指すところ

たつの市内の空き家に残された家具、解体空き家から出る古材・廃材をリユース/アップサイクル(元々の形状や特徴を活かしつつ、古くなったもの・不要だと思うものを捨てずに新しいアイデアを加えて別のものに生まれ変わらせること)して、地域で役に立つプロダクトを作る試みである。例えば、現在開発を続けているアップサイクル家具や屋外ベンチの製作過程にタッチポイントを増やして地域住民を巻き込めるものにし、シルバー世代や若者に仕事を作る・スモールビジネスの芽になる仕組み作りを検討する。

## 活動内容

1. 拠点づくり・活用実験 → 町の有休資産であった蔵を活動拠点とし、整備と活用実験を行う。
2. アップサイクル関連のワークショップや食器のフリマ等 (開催延期)
3. ベンチを使った活用実験 → アップサイクルベンチを使った朝ごはん企画の開催 (開催延期)
4. アップサイクル系プロダクト開発 → 地域の家具職人・県立大学の学生・地域住民と空き家の中の家具をリペアしたり新しい家具に生まれ変わらせる活動

## 成果や課題点

### 【成果】

- ・使われていない椅子や民具をリユースしたアップサイクル椅子を製作。  
座面がボロボロの椅子は古い着物を張替生地として再利用した。  
アップサイクル椅子をワークショップ形式で製作するアイデアと手法は、隣市の相生市相生地区の「どうぞのいすプロジェクト」へ伝播した。
- ・アップサイクル拠点の活用  
町全体のアートイベント「たつのアートシーン2021 龍野国際映像祭」へ会場として提供。アップサイクル椅子の制作過程と共に、当事業が空き家問題へのアプローチであることと合わせてPRの場とした
- ・県立大学生企画のアップサイクルプロジェクトへ協力  
RREP (兵庫県立大学地域草生人材育成プログラム)の取組として、古材を活用したサイクルラックを制作する企画へ材料とマンパワーの提供  
前年製作したアップサイクルベンチを活用した朝活イベント企画 (開催延期中)
- ・アップサイクル関連のワークショップ&食器のフリマ (開催延期中)

### 【反省点】

イベント実施予定日が新型コロナウイルス蔓延防止措置期間と重なり、現時点で実施完了できていない。  
特に地域のお年寄りやファミリー層を巻き込みたい意図があるため、感染対策や開催時期については特に気を遣うものとなった。

## 今後の展望 成果の活用

アップサイクル椅子の制作を通して相生地区と繋がりができたため、2地域でアップサイクルの取り組みを広げていける(椅子や家具の物的資源と、渡す人・直す人・使う人の人的資源が増えうる)見込みがある。  
また、相生地区でも空き家問題は深刻であり、椅子や家具集めが龍野や相生の空き家相談に繋がる可能性を見出している。

